**輝かしい新年の幕開け**

**・新春講演会　・新年祝賀会**

 １月6日、「令和」になり、初めての新春講演会、新年祝賀会が開催されました。

 新春講演会では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣の橋本聖子 氏をお招きし、「２０２０年オリンピック・パラリンピック東京大会のもたらすもの」と題した講話をいただきました。

　橋本大臣は、「五輪大会を契機に、さらなる産業振興や地方創生へとつなげたい。成功に向けて全力を尽くし、東北が復旧・復興していく姿を世界の人に見てもらいたい」と話されました。

　また、昨年11月に行われた「おおさき子どもサミット」に参加した宮沢小学校と松山小学校の児童の代表が、大崎のまちづくりへの提言を発表しました。

　児童が互いに掛け合える「ありがとう」「ファイト」など、やさしい言葉を広める動画や、大崎の新しいスポットを子ども目線で考えた、「ゴーゴー大崎いいとこめぐりバス」（今月号の13ページ掲載）の実施など、創意工夫を凝らしたアイデアが披露されました。

　新年祝賀会には、おおさき宝大使の皆さんをはじめ、市内外から約5２０人もの皆さんが参加し、２０２０年に懸ける夢や抱負を語り合いました。

　また、スペシャルゲストに、大相撲の関が参加。おおさき宝大使 横綱白鵬関と宮城野部屋から、台風19号災害の見舞金を託されて駆けつけていただきました。

写真1 新春をぎ鏡割り

写真左から、佐藤市議会議長、橋本大臣、炎鵬関、伊藤大崎市長、小野寺衆議院議員

写真2・3 東京五輪への期待を熱く話す橋本大臣。新年祝賀会では『ささ結』のお寿司を絶賛

写真4 台風19号災害の見舞金贈呈に駆けつけた「炎鵬関」（左）。たくさんの来場者と写真撮影や握手を交わし、交流していただきました

写真5 オープニングを飾った鹿島台太鼓「」。今年度の「宝の都（くに）・活性化貢献賞」を受賞

写真6・7 まちづくりへの希望を話す宮沢小学校の代表児童（写真上）と松山小学校の代表児童（写真下）

写真8 昨年、津軽すこっぷ三味線世界大会で優勝した「」の皆さんが、ユニークで美しい音色を披露